



エナジーチャージ

No.
05

目次

- ・ 今月のPickup
- ・ 不動産コラム

- ・ ガスコラム
- ・ 冬のガス安全ガイド

- ・ 社員ブログ

今月のPickup



リンナイの無水調理鍋「Leggiero」で毎日がレストラン気分



カラー： ホワイト / ブラック

サイズと使用：

サイズ 重さ 容量

18cm 1.1kg 1.9L

22cm 1.7kg 3.4L

※メーカー販売価格：18cm 26,950円(税込)
22cm 29,150円(税込)

また、軽さと扱いやすさもレジェエロの魅力。無水調理鍋と聞くと重厚で扱いづらい印象があるかもしれませんが、「Leggiero」は、イタリア語で「軽やかに」という意味です。その名の通り、片手で扱える軽量設計。日々の調理でストレスを感じることなく、忙しい朝や疲れた夜でもサツと使える手軽さがあります。

最大の特長は水を使わずに煮込み料理ができること。野菜の持つ水分だけで調理が進むため、栄養や旨味を逃がさず、より濃厚な仕上がりに。例えばカレーや肉じゃがなども、レジェエロを使えば「いつもの味」がワンランク上のレストラン風に。余計な水分を加えないため、素材の甘みやコクがぐつと引き立ちます。

レジェエロは、素材本来の水分と旨味を活かして調理する「無水調理」に特化したガス火専用鍋。ステンレスとアルミの三層構造で高い蓄熱性と熱伝導性を誇り、ガス火の強さをしっかりと鍋全体に伝えることで、短時間でもじっくり煮込んだような深い味わいを引き出します。

家事の中でも「料理」は、日々の暮らしに欠かせないもの。けれども、毎日の献立づくりや調理の時間に悩まされる方も多いのではないだろうか。そんな方におすすめしたいのが、リンナイの無水調理鍋「Leggiero（レジェエロ）」です。

レジェエロはそんな願いを叶えてくれる、新しい日常調理のパートナー。ガスの火力と無水調理の魅力を、ぜひ体験してみてください。

“健康的でおいしい食事を、
もっと手軽に”

さらに、レジェエロはリンナイのガスコンロ「デリシア」などと連動すれば、自動調理モードにも対応。材料を入れて、スイッチを押すだけで火加減の調整やタイマー設定もおまかせ。時間にも気持ちにも余裕が生まれ、まるでプロの料理人がついてくれるかのような安心感です。

災害時にも強いガス火調理と無水調理の組み合わせは、非常時の備えとしても注目されています。水を極力使わず、短時間で温かい料理が作れるレジェエロは、もしものときの心強い味方にもなります。



本年も変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。



安全と安心を見守る

「Sセンサー」

毎日の料理に欠かせないガスコンロ。最近のモデルには「Sセンサー（温度センサー）」が標準装備されていることをご存じでしょうか。Sセンサーは、火のそばにある鍋底の温度を感じて、自動的に火力を調整する「見えな安全装置」です。

たとえば、うっかり火をつけたまま離れてしまっても、鍋が過熱しすぎる前にセンサーが察知して自動で火を弱めます。もし空だき状態になっても、一定温度になると自動消火。これにより、油の発火や鍋の焦げつきといった事故を未然に防ぎます。さらに、グリルにもセンサーが搭載されており、魚焼き中の焼きすぎや発火も防止。安全だけでなく、料理の仕上がりも安定します。

従来のガスコンロでは、使用者の注意力に頼るしかありませんでしたが、Sセンサーの搭載により「火を使うに危ない」というイメージは大きく変わりました。特に小さなお子さまや高齢の方がいるご家庭では、安心感が格段に向上します。

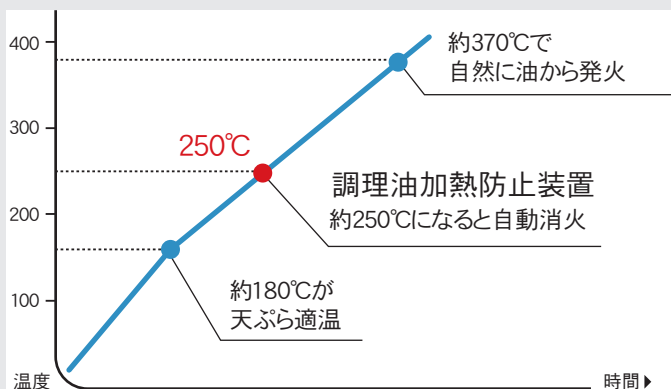
また、省エネの面でもSセンサーは優秀です。必要以上に加熱しないため、ガスのムダ使いを抑え、環境にもお財布にもやさしい仕組みです。便利でおいしく、そして安全にSセンサー付きガスコンロは、これからのキッチンに欠かせない「頼れるパートナー」といえるでしょう。

ガスコラム



調理油加熱防止装置

温度センサーが鍋底の温度を感じ、約250℃になると自動的に消化します。天ぷら油の過熱を防ぎます。



立ち消え安全装置

煮こぼれや吹きこぼれ、強風などで火が消えた時に自動でガスを止めます。

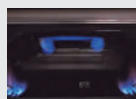


消し忘れ消火機能



コンロ消し忘れ消火機能

火にかけた鍋をうっかり消し忘れても、約2時間で自動消火します。



グリル消し忘れ消火機能

万一、消し忘れた場合、約15分で自動消火します。グリルの中の温度が異常に上がった場合も、安全のために自動消火します。

焦げつき消火機能

煮物などで焦げついた場合、鍋を傷める前に自動で消火します。



●搭載されている機能は機種により異なります。

社員ブログ



運動と健康



今年の干支（えと）は何だろうか？この時期の話題の一つですね。

干支には、「親しみのある十二支（じゅうにし）」と「十干（じっかん）」というものを組み合わせた十二支（じふにし）があります。今年は午年（うまとし）ですが、十干のうちの一つ「丙（ひのえ）」と組み合わせて「丙午（ひのえうま）年」と言われ、60年に一度巡ってくる年です。「丙」は火の性質を持ち情熱的で明るさを表しており、「午」は行動力や前向きなエネルギーを表しています。

さて、気温も急激に下がりが感染症が増える時期となりました。新型コロナウイルスが流行して以降、至る所で感染症への対策が徹底されるようになったのではないのでしょうか。色々な感染症対策がありますが、今回は「運動」について少しばかりお話を。

皆様は意識して運動をしていますか？運動のメリットは様々あり、免疫力や心肺機能が向上したり、血流が促進されたりして病気にかけにくくなることは皆様もよくご存知だと思います。

さらに精神的なメリットもあると言われていて、ストレス軽減や睡眠の質の向上など、心の健康にも良いとされています。私はガスパンプの配送をしているので日頃から体を動かしてはいますが、週二回の筋力トレーニング（軽めの運動です！）を心掛けています。運動後はスッキリとした気分になり、前向きな気持ちになれる実感があります。

今年の干支「丙午」は、「情熱的で前向きなエネルギー」。この機会に心機一転、運動習慣を身につけてみてはいかがでしょうか？何かを新しくするとき、継続が難しいものです。そんなときは、とりあえず五分だけやってみることがオススメです。まずやってみると後からやる気が出てくる場合があります！



写真はトレーニングで使っているシューズです(^^)

溶材グループ 藤本

両親の家を売るときに気をつけたい「思わぬ落とし穴」

「もう誰も住まなくなった実家、そろそろ売ろうかしら。」そんな話を家族することはありませんか？親が高齢になり、施設に入居したあとに残された家。思い出が詰まっているけれど空き家のままでは傷みが進み、固定資産税などの負担も続きます。今回は、そんな「両親の家を売るとき」に起こった、あるご家族のエピソードをご紹介します。

判断力の低下が思わぬ壁に

「両親は仲の良い夫婦で、そろって高齢者向けの施設に入居していました。お父さまが亡くなられ、お母さま（92歳）はそのまま一人で施設生活を続けていました。」

息子さん二人は今後の遺産相続も踏まえて、ご両親が長年住んでいた自宅をどうするか相談し始めました。お母さまが家を相続すれば税金を抑えられる制度（小規模宅地の特例）が使えるため、まずはお母さま名義での相続を検討しました。しかし、自宅の老朽化も進んでいたことから、相続後に空き家のまま残すよりも、売却したほうが良いだろうという話になりました。ところが、時間が経つにつれてお母さまは徐々に気弱な一面を見せるようになり、同時に問題が発生します。

「それは「お母さまの判断力の低下」でした。」

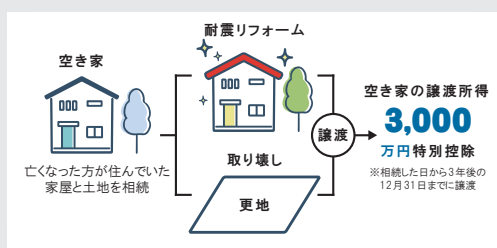
実は、認知症が進むと本人が不動産の売買契約を結べなくなります。この場合は「成年後見制度」を利用して家庭裁判所に後見人を選任してもらう必要があります。許可が下りなければ家は売れないまま空き家として残ってしまうのです。



医師の証明で間に合った売却

幸い、お母さまの主治医から「まだ判断はしっかりしている」という診断を受けることができたため、急いで遺産分割協議をまとめました。息子さんたちは、最終的に自宅をお二人で相続。その後、二人の名義で家を売却しました。

このとき利用できたのが「被相続人の住居用財産（空き家）を譲渡した場合の特例」です。これは、亡くなった親の住んでいた家を子どもが売する場合、最大3,000万円まで譲渡益を税金から差し引くことができる制度です。結果的に、家を売却する際の税負担を大幅に抑えることができました。



「備え」は元気なうちに

いま、日本では100歳を超える方が10万人近くいると言われています。その一方で、65歳以上の5人に1人が認知症になるという予測もあります。つまり、相続や家の売却を考えると、誰かが既に判断能力を失っている可能性も珍しくないのです。

「相続のときに揉めないように遺言書をつくる」ことも大切ですが、これからは「相続までの期間をどう備えるか」も考える必要があります。たとえば、信頼できる家族に財産の管理を任せられる「家族信託」や、判断能力が低下したときの代理人をあらかじめ決めておく「任意後見制度」など。これらをうまく活用すれば、元気なうちに「将来への安心」を準備することができます。



一人・家族だけで悩まずにプロに相談してください

家を売るといのは、単なる不動産の取引ではありません。

そこには「家族の思い出」や「老後の暮らし」、そして「次の世代へのつなぎ方」など、さまざまな想いが込められています。もし「実家をどうしよう」と考えはじめたら、ぜひ早めに相談してください。気持ちを整理しながら選択肢を確認することで、家も家族もそして自分自身も安心できる決断ができるはずです。



3つの約束



しつこい営業はいたしません



秘密厳守いたします



売りたい方のチカラになります

お家に関するお悩み

無 料 相 談



フリーアクセス

お問い合わせはこちら

0800-200-0120



給湯器の電源コンセントは絶対抜かないこと

※気温が下がると給湯器凍結予防の自動ヒーターが稼働します。



ガス給湯器には凍結防止機能が搭載されており、給湯器内部は凍結しにくくなっています。ただし、給湯配管が屋外に露出している場合は、この配管が凍結してしまうことがあります。冬の寒い朝に「お湯が出ない」というときは、凍結が原因の可能性があります。

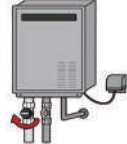
①お湯が出ないようにする

【リモコンあり】



運転スイッチを
オフにする

【リモコンなし】



給湯器のガス栓を
閉める

※②の水を流し続ける時に温水が出てしまうため。凍結防止は冷水で十分効果があります。

**②少量の水を流し続ける
(複数ある場合はどこか1つ)**

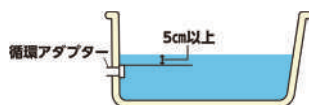


お湯の出る蛇口から1分間に
約4mmの水を流し続ける

※サーモ付やシングルレバーの混合水栓の場合は、設定を最高温度の位置にしましょう。

追い焚き機能付給湯器をお使いの方

浴槽の水を
循環アダプター上部より
5cm以上水を貯める



※ポンプが自動的に水を循環させて凍結予防します。
※水がないとポンプが空運転し、機器から大きな音が発生する場合があります。

単機能給湯器の場合は浴槽の水は不要です。
※浴槽と給湯器の配管をつなぐ「循環配管」の凍結予防策のため。

最低気温が0℃を下回る予報が出たら要注意だよ！



もしも、配管が凍ってしまったら？

☑ 無理にお湯を出そうとせず、自然に溶けるまで待つ。
急に熱湯をかけると配管や機器が破損することがあります。
気温が上がる昼頃に再度確認してください。

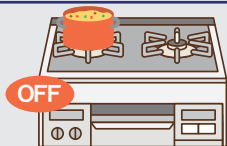
ガスメーターは「安全を見守る番人」



ガスメーターというと、ガスの使用量を計るための装置という印象をお持ちの方が多いかもしれません。

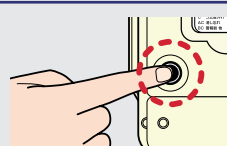
ガスメーターの復帰方法

1



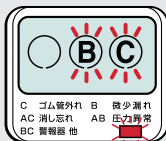
機器のガス栓をすべて閉めてください。
使っていないガスの元栓が閉まっていることを確認してください。

2



左側の「復帰ボタン」を押してください。
「ガス止」の文字が消えます。

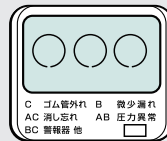
3



液晶の文字とランプが点滅します。
1分間お待ちください。

※復帰ボタンのところにランプがある場合もあります。

4



液晶の文字とランプが消えれば復帰完了です。
ガスが使えるようになります。

実はそれだけでなく、安全を見守るセンサーとしての役割も担っています。ガスメーターは、地震の揺れやガスの長時間連続使用、そしてガス漏れの疑いがあるような異常を感知すると、自動的にガスを止めて事故を防いでくれます。

この機能によって、もしものときも被害を最小限に抑えることができます。つまりガスメーターは「ガスを止めるための装置」ではなく、「安全を守るための見守り装置」なのです。

目立たない場所で、毎日変わらず安全を見守り続けている。それが、皆さまの暮らしを支えるガスメーターの大切な役割です。

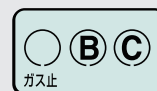
異常表示の例



ガスが不自然に流れた時・急にガスの量が大幅に増えた時
(ホース外れ、配管折れなど)



長時間ガスが流れ続けている時
(お風呂のつけっぱなしなど)



震度5以上の地震が発生した時



リフォーム

不動産

